

ホスティングマガジン vol.40 / 2025 Spring

JAPAN  
Youth Hostels, Inc.

# H<sup>OSTELLING</sup> Magazine



COVER INTERVIEW  
**奥田いろは**  
(乃木坂46)  
一瞬の美しさを残して、  
消えてしまうものだから

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。





さあ、おいしさと  
でかけよう!



ランチパック

# 1789

## バスティーユの恋人たち

Le Spectacle Musical «1789~Les Amants de la Bastille»  
Original production by NTCA PRODUCTIONS

潤色・演出 小池修一郎

(宝塚歌劇団)

ロナン (Wキャスト)

岡宮来夢 / 手島章斗

オランブ (Wキャスト)

星風まどか / 奥田いろは  
(乃木坂46)

マリー・アントワネット

凧七瑠海

デムーラン

内海啓貴

ロベスピエール

伊藤あさひ

ダントン

伊勢大貴

ソレーヌ

藤森蓮華

ラマル

俵和也

アルトワ

高橋健介

フェルゼン

小南光司

ペイロール

渡辺大輔

2025年4月8日(火)~4月29日(火)

一般発売開始 2025年1月25日(土)

### 明治座

製作 ㊤ TOHO

協力 宝塚歌劇団

再び革命を

日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟 (Hostelling International) や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

こどもはおとなに。  
おとなはこどもに、  
なれる場所。



- 02 Cover Interview  
奥田いろは(乃木坂46)  
一瞬の美しさを残して、  
消えてしまうものだから
- 08 Youth Hostel Pick up  
自然の森M.G.ユースホステル  
人を慕い、人が集い、歴史を紡ぐ  
平和への思いが生んだユースホステル
- 12 Hostelling Magazine × 地球の歩き方  
ベルリンの壁崩壊から35年  
ベルリンの今を歩く
- 16 鉄道写真家 櫻井 寛「列車で行こう!」
- 18 松島むうの晴れときどき旅びより
- 20 YH-GUIDE ユースホステルガイド  
和歌山県 / 岡山県 / 広島県 / 山口県  
徳島県 / 香川県 / 愛媛県 / 高知県 / 佐賀県  
熊本県 / 大分県 / 宮崎県 / 鹿児島県 / 沖縄県

※本誌の情報は2025年2月10日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島 真

TEL.(03)5738-0546 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

一瞬の美しさを残して、  
消えてしまうものだから

Hostelling Magazine Cover Interview

Iroha Okuda

PROFILE

乃木坂46

奥田いろは (おくだいろは)

2022年、乃木坂46の5期生オーディションに合格し活動開始。2024年のミュージカル「ロミオ&ジュリエット」では、初舞台にしてジュリエット役をオーディションで射止めるなど、高い歌唱力に注目が集まっている。また、特技のギターを生かして乃木坂46公式YouTubeチャンネル「乃木坂配信」にて路上ライブ企画が配信されるなど、グループ内外で幅広く活動中。乃木坂46の冠番組「乃木坂工事中」(TVA/TX)は毎週日曜24:15~から放送中。2025年4月8日からは宝塚歌劇団・小池修一郎演出のミュージカル「1789-パステューユの恋人たち」にオランブ役で出演が控えている。

ヘア&メイク:高橋推奈 / スタイリスト:鬼束香奈子 / フォト:小林潤次(七彩工房)  
ニット・スカート:31 Sons de mode (ヒロタ) <https://31sdm.jp/> / フーツ:ラウナレア (03-5797-8038) / ピアス 右手リング:ete / 左手リング:ete bijoux ジュエリーすべて (0120-10-6616)



**できることを全部やってきたから、  
もっと先を目指したい！**

—36thシングルのアンダー楽曲『落とし物』でセンターに  
抜擢され、アンダーライブ座長として『36th SGアンダー  
ライブ』公演を完走。そして、37thシングル『歩道橋』では  
初の選抜入りと、2024年は大活躍の1年でしたね！

自分でも想像していなかったような「ギュッ」と詰まった1年で、  
本当にあっという間でした！ファンの皆さんに「おめでとう！」  
と言っていたくことも多くて、一歩前に進めた年だったなと思  
います。

—初選抜に選ばれたときは、どんな心境だったんですか？

いろんな感情が頭の中をグルグルグルっとなって、声が出なかつ  
たですね。いつも応援してくださっている皆さんの顔が浮かんで  
きて「一つ恩返しのできたのかな」と、そう思えた瞬間でした。  
ただ、私自身はあまりポジションに対しての執着はない、とい  
うか「選抜に入ることがゴール」ではないと思っています。  
乃木坂46に加入してからの3年間、私は一番後ろの端っこにい  
ることが多くて、加入して間もない頃は「何をどう頑張ったら、  
もっと前の列や、その先の選抜メンバーになれるんだろう…」っ  
て、悩んでいた時期もあったんです。その悩みをマネージャー  
さんに相談したら「今のポジションから1列前に行っても、違う  
悩みがある。アンダーのセンターになっても、選抜に入っても、  
選抜のセンターになっても、きっと悩みは尽きないよ。ポジショ  
ンで悩むのをやめたほうが、奥田はきっと輝けるよ！」とアドバ  
イスをもらって、その時に「…うん、確かに！」って(笑)、す  
ごく納得したんです。それからは「自分の場所で、自分ができ  
ることを全力でやろう！」と決めて、本当にできることを全部や  
ってきました。そんな3年間を今とても誇りに思っていますし、ま  
だまだもっと先を目指して頑張っていきたいので、もちろん選  
抜メンバーに選んでいただいたことはとてもうれしいんですけど  
「ここで喜び切りたくない！」っていう、複雑な思いもあったり  
するんです。

—昨年はミュージカル『ロミオ&ジュリエット』のジュリ  
エット役としてミュージカルにも初挑戦されましたよね！  
グループのお仕事と並行しての公演は大変だったんじゃない  
ですか？

そうですね、アンダーライブのリハーサルと並行してミュージ  
カルに出演していた時期は、すごく大変でしたね…。ただ、乃  
木坂46というグループがあってこそその個人のお仕事なので、自  
分ができるグループとしてのお仕事を怠りたくなくて。同じ時  
期にあった山下美月さんの卒業コンサートにも「なるべく出たい  
です！」とお願いして、ご迷惑をかけない程度に出演させても

らっていました。その忙しい時期を乗り越えてからですかね、  
周りの人から「雰囲気が変わったね！」とか「自信がついたんじ  
ゃない？」と言ってもらえることが多くなってきたんです。  
もともと、人の目を見て話すだけでドキドキしちゃうくらい、  
自信がなくて人見知りだったんですけど、最近は知らない人  
にも話しかけちゃうんです(笑)。この前も、一人で入ったご飯屋  
さんで隣に座っていたおばあちゃんと目が合ったので会釈をし  
たら、会釈を返してくれたので「すてきな帽子ですね！」「今、  
何食べてたんですか？」とか話しかけて(笑)。そうしたら、  
おばあちゃんが「かわいいねえ。テレビで見る3、40人ぐらいで  
踊ってる子たちみたい」って(笑)。

—3、40人ぐらいで踊ってる子たち(笑)。おばあちゃん鋭  
いですね！

そうなんです(笑)。「あ、ありがとうございます！うれしいで  
す!!」ってその時はお伝えして、お別れしました。きっと乃木坂  
46のメンバーだって気づいてないんじゃないかな？(笑)。

—今年は 4月に明治座で上演されるミュージカル『1789 -  
バスティーユの恋人たち-』に出演されるのが発表されま  
したね！ぜひ見どころを教えてください！

『1789 -バスティーユの恋人たち-』はフランス革命が舞台の  
ミュージカルで、私はマリー・アントワネットに仕える教育係で、  
主人公の農夫ロナンと恋人でもあるオランプ・デュ・ピュジェを  
演じます。今はフランス革命について書かれた本を読んで「ああ、  
民衆はこんなに苦しい思いをしていたのか…」と、当時の様子  
を想像しながら物語の背景を勉強したり、これまでに上演され  
た映像を見ながらイメージを膨らませています。私は、これまで  
の作品でオランプ役を務められた歴代の方々の中でも年齢が下  
のほうなので、最初は「少し大人っぽく見せる役作りをしなきゃ  
いけないかな？」と思ったりもしたんですけど、いろいろ考える  
中で、リスペクトをしながらも、これまでのオランプに引張  
られすぎない「私なりのオランプ」を作りたいと思っている  
んです。まだまだ勉強中ですが、自分でも納得がいくミュージ  
カルにしたいと思っています！

**初海外は韓国旅行！  
目指すは弾丸一人旅！?**

—先日、同期の五百城茉央さんと韓国旅行に行かれたそう  
ですね！

そうですね！初海外でした!!実は以前から独学で韓国語を勉強  
してしまっていて、なんと、今回の旅では一回も翻訳機を使わず  
に行き帰ってこられたんです！



**Iroha Okuda**

—独学で韓国語？すごい…。韓国語を勉強しようと思った  
きっかけは何だったんですか？

小学生の時に韓国ドラマにハマりまして、それから韓国のバラ  
エティ番組とかも見るようになったんです。お気に入りには小  
さい子どもに密着したドキュメントバラエティの番組で「その  
番組を見て癒やされてるうちに、自然と韓国語が理解できるよ  
うになっていた」という感じです。その番組では韓国の赤ちゃん  
言葉というか「赤ちゃんにも伝わる、やさしい韓国語」が使わ  
れているので、理解しやすくて「この番組を字幕なしで見たい  
な」と思うようになって、ちゃんと勉強するようになりました。  
といっても、毎日、独り言を韓国語でつぶやいてみたり、とい  
う感じなんですけど(笑)。

—いやいや、旅先でも使えるほど言語をマスターしたのは  
すごいです！韓国ではどんなことをしたんですか？

ショッピングをしたり、日本ではなかなか行けないプールに行  
って、久しぶりに水に浸かったり(笑)。私も茉央もノーブ  
ランで「現地に行ってから何をするか決めよう！」という感じ  
だったんですけど、とても楽しめました！パスポートも作り  
ましたし、初めての海外旅行は大成功だったので、これからは  
世界が広がりそうに楽しみです！韓国は思っていたより近い  
ことがわかったので、今度は一人で行ってみたいかな？

—以前、Hostelling Magazine vol.28でインタビューさ  
せていただいた卒業生の樋口日奈さんは、仕事終わりにお  
ひとりで弾丸韓国旅行に行かれてましたよ！ご家族にも事  
後報告だったとか…。

弾丸一人旅いいですね！行ってみたいかな…。この前の韓国  
旅ではご飯屋さんあまり行けなかったんで、新しいご飯  
屋さんとかカフェを開拓してみたいんです。というも、茉  
央も私も辛いものが苦手な食べられなくて(笑)、この前  
行ったお店は全部辛くて、食事には苦戦してしまっ  
たので(笑)。

—韓国料理にもいろいろありますが、辛いものは本  
当に辛いんですからね…(笑)。これまで Hostelling  
Magazine ではたくさん乃木坂46のメンバーの方に  
インタビューをさせていただいてきたのですが、旅好き  
の方が本当に多いですよ！「メンバーの間で旅の情  
報を交換する」なんてこともあるんですか？

情報交換しますよ！海外に行かれる先輩も多いので「ど  
こかオススメの国ありますか？」と聞いたりしますし、  
あと私が「海外旅行に興味がある」と発信してからは、  
ファンの方がお話し会しているんな国の話を教えて  
くださることもあります。

—ちなみに、次の旅先はもう決まったりするんですか？



まだ決まってないんですけど、今はベトナムが気になってるんです。本場のベトナム料理を現地で食べてみたいのと、民族衣装のアオザイもかわいいなあと思っていて。あとは、ニューヨークで本場のミュージカルも観てみたいし、ロミジュリの舞台のイタリアに行って、本場のイタリア料理も食べてみたいし、今勉強しているフランスも行ってみたい！あ、あと、ドイツにも行ってみたい(笑)。ドイツの本場のクリスマスマーケットに行きたいんです！SNSで見たんですけど、雪が降ってクリスマスの魔法がかかったようなヨーロッパの街並みに惹かれるんです！あとは、国内だったら礼文島に行きたいですね。

—礼文島？北海道の礼文島ですか？

そうです、礼文島！以前、飛行機の機内誌で礼文島の自然と星空が特集されている記事を見てから、ずっと行きたいと思っていて。私は小さい頃に「将来は宇宙飛行士になりたい！」と思っていたほど星を見るのが好きなので、機内誌で見たあの星空を、いつか礼文島で見たいんです！

—礼文島には桃岩荘ユースホテルという、スタッフとゲストがみんなで歌って踊るユースホテルがありますので、礼文島に行かれる際はぜひ！！

え、すてき！みんなで歌って踊るユースホテル？すごい興味あります!!私も歌って踊れます(笑)！

ラストチャンスで掴んだ憧れの舞台  
花火のような、美しさのために

—小さい頃、宇宙飛行士になりたかった奥田さんが、その後どんな経緯で乃木坂46に加入することになったんですか？

宇宙飛行士になりたかったのは5、6歳くらいの頃までだったと思います。夜空を眺めたり、星の図鑑を見るのが大好きで「宇宙飛行士になれば、あの宇宙に行けるんだ！」と憧れていましたね。私は3歳から子役として芸能活動をしていたんですけど、乃木坂46のオーディションを受けた16歳当時は、将来のことを考えて芸能活動をお休みしていて、その時は普通に進学して、将来は幼稚園の先生になるかと考えていました。でも、テレビで見るキラキラした乃木坂46にはものすごく憧れがあって、5期生オーディションの募集を見たときに「このオーディションに受からなかったら、もう芸能活動はやめよう」って、本当にラストチャンスをつもりでオーディションを受けて、合格できたんです。

—そのラストチャンスに挑戦しなかったら、こうしてお話を伺う機会がなかったのかと思うと、なんだか不思議な気持ちになります。ちなみに、オーディションを受けた当時

に応援していた「推しメン」はいたんですか？

2期生の北野日奈子ちゃんです！テレビで見る乃木坂46のメンバーは、皆さんかわいかったですけど、日奈子ちゃんを見たときに一目惚れしてしまって…。ファンになって、深く知っていくうちに日奈子ちゃんの内面もすごく好きになって、ずっと憧れていました。なので、乃木坂46に加入して、日奈子ちゃんがセンターを務めたアンダー楽曲の『日常』という曲を披露するときは、日奈子ちゃんへの愛がある分すごいプレッシャーで…。日奈子ちゃんの映像を片っ端から見て、表情とかダンスの雰囲気勉強していました。ただ、最近は「このまま『日奈子ちゃん』の『日常』を、ただ真似しているだけじゃダメなんじゃないか？」と思うようになって、自分なりの解釈というか、表現に挑戦させてもらっていたんです。そうしたら、この前、日奈子ちゃんがそれを見てくれたみたいで「いるちゃんの『日常』には、光とか希望が見えたよ！」と連絡をくださって…すごくうれしかったです！

—憧れていたメンバーとそんな関係になれるなんて、羨ましいです…。

5期生として活動してきたこの3年間、たくさん先輩に頼ってきたし、助けられてきました。昨年のアンダーライブの座長公演も、ご卒業された向井葉月さんをはじめ、先輩たちの優しさに助けられて完走できたと思っています。この今まで受けてきた優しさを、今度は新しく加入する6期生に還元できる先輩になりたいです。私は「自分から先輩にグイグイいけないタイプ」だったの

で(笑)、そんな後輩がいたら私から寄り添っていきたいです。

—6期生の加わった乃木坂46の活躍も楽しみにしています！最後に、日本のトップアイドルグループになった乃木坂46の魅力を改めて教えてください！

そうですね、乃木坂46の魅力は、ロングスカートをなびかせて踊るグループとしての唯一無二のパフォーマンスはもちろん、メンバー一人一人が温かくて、面白くて、みんなが内面にもそれぞれの魅力をもっているところだと思うんです。なので、テレビなどで「あ、この子かわいいな！」と思っていただけたら、そこから気になったメンバーのことを詳しく知ってもらいたいです！『乃木坂工事中』(TVA/TX)というテレビ番組や『乃木坂配信中』というYouTubeチャンネルでメンバーそれぞれの個性があふれたコンテンツを見ることができるので、ぜひチェックしてみてください！

あとはやっぱりライブです！私は「ライブって、花火みたいな」っていつも思うんです。花火は職人さんが大変な思いをして、時間をかけて一つ一つ作られて、でも打ち上がった瞬間の美しさを残して、儚く消えていくじゃないですか。私たちも、1曲のために何日もかけて練習して、ライブで披露するのは、ほんの数分なんですよね。すごく変わりゆくグループなので、同じメンバーで同じパフォーマンスをすることって実は少なく…それって、とても儚いことなんですけど、そんな儚くて、でも美しいライブが私はすごく好きなんです。なので、ぜひ、会場や配信でライブを見てもらえたらうれしいです！

👑 乃木坂46 13th YEAR BIRTHDAY LIVE



【会場】味の素スタジアム  
【開催日】2025年5月17日(土)・18日(日)  
【内容】  
「乃木坂46 13th YEAR BIRTHDAY LIVE」が2025年5月17日(土)・18日(日)に、味の素スタジアムにて開催決定！  
乃木坂46としては、初めての味の素スタジアムでの公演となる。  
ライブに関する情報は、公式サイトでの発表をお楽しみに！



抽選で 奥田いろはさん直筆サイン入り色紙1名様にプレゼント!

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの専用お申し込みフォームから！

<http://www.jyh.or.jp/hmq>

応募〆切:2025年4月末日

※当選者にはご応募時にご登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。  
©jyh.or.jpからのメールが受信できるように設定をお願いいたします。



日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟 (Hostelling International) や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

こどもはおとなに。  
おとなはこどもに、  
なれる場所。



# Hostelling Magazine vol.40



**Cover Interview**  
奥田いろは(乃木坂46)  
一瞬の美しさを残して、  
消えてしまうものだから

P.02



**Youth Hostel Pick up**  
自然の森  
M.G.ユースホステル  
人を慕い、人が集い、歴史を訪ぐ  
平和への思いが生んだユースホステル

P.08



**Hostelling Magazine  
× 地球の歩き方**  
ベルリンの壁崩壊から35年  
ベルリンの今を歩く

P.12



**鉄道写真家 櫻井 寛**  
「列車で行こう!」

P.16



**松島むうの**  
晴れときどき旅びより

P.18



**YH-GUIDE**  
ユースホステルガイド  
和歌山県 / 岡山県 / 広島県  
山口県 / 徳島県 / 香川県  
愛媛県 / 高知県 / 佐賀県  
熊本県 / 大分県 / 宮崎県  
鹿児島県 / 沖縄県

P.20



**Hostelling Magazine vol.40**  
まとめてダウンロード

※本誌の情報は2025年2月10日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島 真

TEL (03)5738-0546 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。